

第1回「低カリウム野菜」シンポジウム in Akita

～ 医農工の協力による新たな取り組み～

腎臓病患者の方々は全国に1300万人ほど、透析病患者の方々は31万人ほどおられ、カリウムの摂取制限を受けている方も多くおられます。低カリウム含有の野菜があればカリウム制限を受けておられる方々も生野菜をたくさん食べられる可能性があり、その果たす役割は大きいと考えられます。

このシンポジウムでは、生野菜摂取に関しお悩みの方々に、低カリウム野菜を知り、その利用を考えていただくことを目指して、その特長や課題や提言などをお話ししていただく予定です。

患者とそのご家族、患者を支援されている方々はもちろん、医療や野菜栽培に携わっておられる方々など関心のある方は是非ご参加ください。

日時 平成28年3月6日（日）

総 会：13:00～13:25

シンポジウム：13:30～16:20

交流会：16:30～17:30

場所 ホテルメトロポリタン秋田

秋田市中通 7-2-1

（JR 秋田駅西口隣接）

018-831-2222

参加費

シンポジウム：1,000 円（当日受付）

交流会：3,000 円（当日受付）



プログラム（予定）

第1部 「全国低カリウム野菜研究会」総会（発会式）

13:00～13:25 総会

第2部 シンポジウム

13:30～13:40 開会のあいさつ

13:40～14:40 基調講演

1:「慢性腎臓病（CKD）とカリウム代謝異常：その病態と治療」（仮題）

帝京大学 医学部内科学講座 教授 内田俊也 氏

2:「腎臓病透析患者のための低カリウム野菜」（仮題）

秋田県立大学 生物資源科学部 准教授 小川敦史 氏

14:50～16:10 パネルディスカッション ～低カリウム野菜の普及に向けて（仮題）～

○患者代表者：「低カリウム野菜に期待するもの」（仮題）

全腎協副会長（新潟県腎臓病患者友の会） 馬場亨 氏

○医療関係者：「低カリウム野菜の可能性について」（仮題）

秋田厚生医療センター腎臓内科 診療部長 大谷浩 氏

○管理栄養士：「野菜を食べることの重要性について」（仮題）

北海道文教大学人間科学部健康栄養学科 准教授 木藤宏子 氏

○栽培関係者：「低カリウム野菜の実用化について」（仮題）

富士通ホーム&オフィスサービス株式会社 特命顧問 今井幸治 氏

16:10～16:20 閉会のあいさつ

第3部 交流会

16:30～17:30 交流会 ※低カリウム野菜を使用した料理を振る舞う予定です。

主催 全国低カリウム野菜研究会

共催 公立大学法人 秋田県立大学

申込 下の申込書に必要事項を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込みください。

問合先 全国低カリウム野菜研究会準備会

〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西 241-438

秋田県立大学 生物資源科学部 植物生態生理研究室

TEL: 018-872-1630

(不在時は地域連携・研究推進センター 018-872-1557)

FAX: 018-872-1678

E-mail: teikariyasai@gmail.com

参加申込書

(送付先) 全国低カリウム野菜研究会準備会 あて

FAX : 018-872-1678

E-MAIL : teikariyasai@gmail.com

【申込締切日 : 2月10日(水)】

所属	職 名	氏 名	参加の有・無		
電話番号		E-mail	総会	シンポ ジウム	交流会
()		@			
()		@			
()		@			
()		@			
()		@			

※上記の申込書に記載された個人情報は、受付整理や本シンポジウムに関する諸連絡、次回からのイベント等の案内にのみ利用し、それ以外の目的には使用しません。